

- 平成22年に独立し、米・麦・大豆の生産を行ってきた中で、大豆の一部区画において単収が伸び悩んでいたことから、その代替作物として令和2年産より加工・業務用キャベツの生産を開始し、米・麦・大豆に加工・業務用野菜を加えた、機械化による大規模な複合経営に取り組む。
- 加工業者から、たまねぎ生産の依頼があり、令和6年に試作を実施し、翌年より本格生産を開始。
- キャベツ、たまねぎは、いずれも全量を加工・業務用として契約取引している。
- 国庫補助事業を活用し、キャベツの収穫機や乗用移植機を導入したことで、経営面積の拡大。収穫量の増加に伴い、売上高も大幅に拡大。
- 今後は、たまねぎの収穫機及び調整機を導入し、さらなる規模拡大を目指す。また、天候に左右されない安定した計画出荷を実現するため、大型冷蔵庫を設置するとともに、近隣生産者と連携した大規模露地野菜産地の形成に意欲。

## 長野ライス株式会社

### ・会社概要

事業者名 長野ライス株式会社  
 所在地 三重県松阪市  
 従業員数 社員7名、パート4名

・栽培面積：加工・業務用野菜 27 ha  
 （キャベツ15ha、スイートコーン7ha、たまねぎ5ha）  
 （参考：米50ha、麦30ha、大豆20ha）

### ・年間生産数量

キャベツ 500 t(R6年度実績)  
 スイートコーン 140 t(R7年度実績)  
 （うちキャベツは全量加工・業務用：500t）



### 加工・業務用野菜の取組

- ・移植機、管理機、収穫機等機械化一貫体系の推進
- ・鉄コンテナによる出荷



【販売】

（加工・業務用）  
 一次加工事業者  
 中間事業者

（青果）  
 青果卸売業者

## 実需者

（加工・業務用）  
 A社（冷凍食品製造事業者）  
 【岐阜県】

（青果）  
 B社（小売店）【三重県】  
 C社（小売店）【三重県】

作付面積の推移 (ha)



担い手確保・経営強化支援事業（R3）により、収穫機、乗用移植機を導入